



犯罪は夕暮れ時や夜間、死角などで起こりやすく、暗い夜道は危険です。町では、通学路などにLED防犯灯を設置し、犯罪を無くす取り組みを行っています。町で暮らす皆さん全員が、安心安全に町道を通行するためにも、防犯灯は大きな役割を担っています。

特に、やむを得ず夕暮れ時や夜間に帰宅しなければならぬ子どもたちにとって、暗い道を通行することは危険であり、また本人にとっても不安を感じるでしょう。防犯灯があれば、その不安を和らげ、なおかつ犯罪行為を抑制し、監視することもできます。

さらに、従来の防犯灯を順次LED防犯灯に切替える事で、明るい町づくりをすすめています。LED化により、防犯灯の長寿命化や電料の削減が図られ、より効果的に防犯体制を整えることができるようになりました。

町の防犯活動の取り組み

上毛町青少年健全育成町民会議

「上毛町青少年健全育成町民会議」は、家庭・学校・地域が一体となって青少年の健全育成を積極的に推進することを目的に、様々な事業を行っています。

毎年、町内各小学5・6年生、中学1・2年生を対象に、青少年健全育成に関する標語コンクールを開催し、入選作品を広報などで紹介しています。これは、標語作りを通して、あいさつや人を思いやる心の大切さや青少年の非行防止、世界の平和などについて考え、健やかな成長を図るものです。また小・中学校と連携して、定期的に校区内の防犯情報の把握に努めているほか、防犯授業を実施しています。

7月25日(土)には、げんきの杜多目的ホールで町内小学校の児童14名が参加し、「小学生防犯カルタ大会」を行いました。この大会はカルタ遊びを通して非行防止や防犯について楽しみながら学ぶことで、決まり事や社会ルールを守る心を育て、非行防止、防犯意識を高めることを目的としています。大会では、防犯に詳しい講師を招き、防犯講話も行いました。



平成27年国勢調査

国勢調査は、日本の未来、地域のまちづくりのための大切な調査です。ご協力をお願いします。(10月1日実施)

平成27年国勢調査が変わります。今回から紙の調査票のほか、インターネットでも回答が可能となりました。国勢調査の結果は、福祉、教育、雇用、防災、地域対策など、日本の未来をつくる基礎資料になります。10月1日(木)現在のみなさんの状況を回答してください。

どうやって調査するの？

日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象とした調査で、調査員が9月10日(木)からご自宅にお伺いし、インターネットで回答するための書類を配布します。その後インターネットで回答をされなかった世帯を対象に、9月26日(土)から自宅にお伺いし、紙の調査票を配布します。

どうやって提出するの？

インターネットから回答する場合は、9月20日(木)までにパソコンやスマートフォンから回答してください。紙の調査票で回答する場合、10月7日(水)までに調査員がご自宅にお伺いしますので、調査員にお渡しください。また、紙の調査票は郵送でも提出できます。

プライバシーの保護について

調査は統計法に基づく基幹統計調査として実施します。この法律では調査内容を統計以外の目的に使用することが固く禁じられていますので、調査結果が税金の徴収に使われるようなことは一切ありません。また調査員にも守秘義務がありますので、調査で知り得た情報が他人に漏れることはありませんし、調査票についても紛失・盗難に遭わないよう厳重に管理されます。

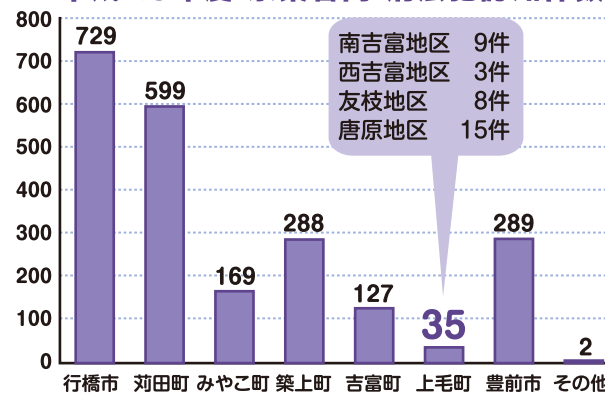
●問い合わせ先 総務課 総務係 TEL 72-3111(内線115)

京築一犯罪が少ない上毛町

福岡県では平成26年度、63,259件の犯罪が発生しています。その中で京築管内では2,238件が発生していますが、上毛町は35件で京築管内全体の約1%と管内では最も少ない数字でした。また、直近3年間のデータを見ても、いずれの年も一番低い数字でした。しかし、少ないとは言え、町内で犯罪が起きているのも事実です。

地域住民が安心して暮らせる社会を実現するためにも、犯罪を減らす事が重要な課題となっています。

平成26年度 京築管内 刑法犯認知件数



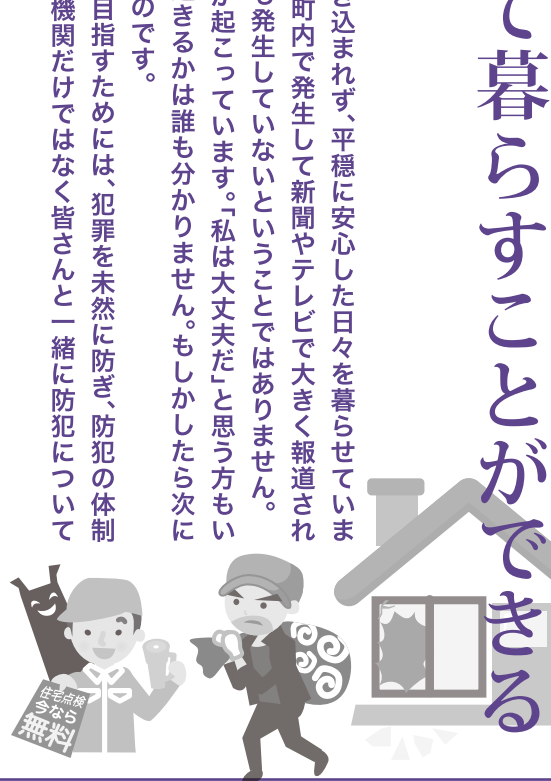
現在、京築管内で最も犯罪が少ないとはいえ、犯罪を全て無くす事はできていません。「犯罪が全く起こらない町」と呼ばれる日が来るまで、町は各種・施策の取り組みを徹底して行いきます。皆さんも防犯意識を高め、犯罪をゼロにするためにご協力をお願いします。

●問い合わせ先 総務課 総務係 TEL 72-3111(内線115)

誰もが安心して暮らすことができる町を目指して

皆さんはこの町に住んでいて、犯罪に巻き込まれず、平穏に安心した日々を暮らせていますか。確かに殺人や強盗などの凶悪犯罪が、町内で発生して新聞やテレビで大きく報道されたことはありませんが、町内で犯罪が一件も発生していないということではありません。実際、空き巣や自転車盗難といった犯罪が起きているんです。「私は大丈夫だ」と思う方もいるかもしれませんが、犯罪はいつ、どこで起きるかは誰も分かりません。もしかしたら次にあなたが被害者になることも十分あり得るんです。

誰もが安心して暮らすことができる町を目指すためには、行政機関だけではなく皆さんと一緒に防犯について取り組んでいくことが重要になります。



地域づくり活動の一環として防犯パトロールを行っています

安雲オーイげんき会

上毛町地域づくり団体の「安雲オーイげんき会」は幅広い世代間の親交を通して「元気で楽しく、生き生きと安全・安心に暮らせる生活環境作り」に取り組んでいます。活動の一環として西吉富小学校の校区内で、防犯パトロールを行っています。登校時には西吉富小学校前の交差点などの要所に立番し、朝の挨拶・交通安全指導を実施し、下校時には、校区内の人通りの少ない通学路でパトロールをしています。

このような防犯活動は、平成17年に栃木県で起きた小学生の女児が下校時に殺害されるという事件が契機となり、二度とそのような事件を起こしてはならないという願いを込めて始めました。今年2月には豊前市で小学生児童が殺害される事件が起き、更に気を引き締めて活動しています。

また、毎月「安雲オーイげんき会じじ通信」という活動誌を発行し、その中で地域内の防犯情報を掲載するなど、防犯意識を喚起する取り組みも行っています。

